

事務事業名	にぎわい創出店舗活用事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	22	終了	
H27担当課等名	商業・市街地活性化課	H27係等名	商業流通係	H26係等名	商業流通係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり										
目的	対象(誰・何を)	空き店舗及び大型店舗・建物の空きスペース						対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	商業施設、商店街コミュニティ施設として活用してもらい、商店街等のにぎわいに結び付ける							空き店舗数				70
	向上させたい上位施策の成果指標	小売業1店舗当たりの売上額(万円)											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	活用できた空き店舗数				3	1	3	3				
	定性目標												
事業概要	商店街のコミュニティ施設、または、起業家支援店舗として空き店舗を活用する事業者及び団体を支援し、創業支援や新規出店環境の向上を図りながら、商店街のにぎわいを創出する。												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 空き店舗活用推進事業補助 商店街団体が空き店舗をコミュニティ施設又は起業家支援店舗として活用する場合の改修費、賃借料等の補助					1 活用団体数			1 1団体				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		640	640	640	640								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		640	640	640	640								
人件費計(千円)②		1,073		715									
正規職員所要時間		300		200									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		1,713	640	1,355	640								
事業内容・目標達成状況の振り返り	商栄会が商店街の空き店舗を活用して取り組む事業などを支援した。知久町1丁目商栄会が、商店街の空き店舗を「ちくいちサロン」として商店街のにぎわい創出などに活用することへ支援した。また、飯田商工会議所とともに、中心市街地の商栄会の協力により、商店街の空き店舗状況を調査した。今後に対策や活用などを研究する。												
改革改善の考え方	①問題点	高齢化や経営不振などにより空き店舗が増加傾向にある。											
	②改革提案	空き店舗情報を定期的に把握するとともに、情報発信と相談業務、マッチングなど空き店舗対策業務の一元化を商工会議所を基幹として、商栄会などの商店街の協力連携による面的な対応や仕組みづくりを研究する。											